



# 三川っ子だより

No.16

## 1年間ありがとうございました

本日の修了式、明日の卒業式が終わると、令和6年度の教育活動の全てが終わります。保護者、地域の皆様におかれましては、学校教育への御理解と御支援を賜りましたことをこの場を借りてお礼申し上げます。

令和6年度は、「南海トラフ地震臨時情報」の発令、台風10号による長期間の大雨、災害級と言われた猛暑等、災害への備えの必要性や、学校・家庭・地域との関わりを改めて考え直す1年でした。災害等の様々な困難を乗り越えるために必要なのは、人と人との協力や助け合いです。助け合えるような関係を作るためには、日頃から積極的につながりを作っておくことが大切です。そう考えると、三川小学校は、家庭・地域とつながりのある様々な行事が行われたり、学校の環境整備や教育活動への地域の皆さんからの支援が行われたりと、他の学校にはない家庭・地域とのつながりがたくさんあります。困難な場面に直面しても、きっとこのつながりの強さが発揮され、乗り越えられることなのでしょう。今後も大きな変化が予想される社会、引き続き学校・家庭・地域のつながりを大切にし、子どもたちの笑顔と元気に溢れる学校づくりを目指してまいります。1年間本当にありがとうございました。



修了式では、各学年の代表児童（1年生 鈴木文乃さん、2年生 浅岡一華さん、3年生 木野暁斗さん、4年生 寺田希さん、5年生 石川海清さん、6年生 三瓶壺太さん）がこの1年間に頑張った成果を振り返り、発表しました。どの子の発表にも1年間の成長とそれに向けた努力の様子が垣間見えました。一人一人自信をもって新しい学年でも頑張ってください。

## 令和6年度 竹一昇段者 93人！！

今年度、本校の伝統である「竹一（竹馬・一輪車の活動）」を松風班で取り組みました。夏の期間は猛暑の影響により、運動場で遊ぶことが制限されましたが、それでも多くの子が竹一の昇段にチャレンジし、延べ93人が合格しました。おめでとうございます。

### 一輪車

初段	合格 9名	1年生 4名	2年生 2名	3年生 3名		
2段	合格 10名	1年生 2名	2年生 2名	3年生 4名	5年生 1名	6年生 1名
3段	合格 7名	1年生 2名	4年生 1名	5年生 2名	6年生 2名	
4段	合格 6名	1年生 1名	3年生 1名	4年生 3名	6年生 1名	
名人	6年生	前田剛志さん				

### 竹馬

初段	合格 24名	1年生 13名	2年生 4名	3年生 3名	4年生 3名	5年生 1名	
2段	合格 22名	1年生 1名	2年生 4名	3年生 5名	4年生 8名	5年生 3名	6年生 1名
3段	合格 9名	3年生 3名	4年生 3名	5年生 3名			
4段	合格 6名	3年生 2名	4年生 2名	5年生 2名			
名人	4年生	松井美月さん	4年生	山本笑実さん			

合格おめでとう！



今、皆さんの代表の人に手渡した修了証書は、皆さんが「この一年間、よく頑張って、それぞれの学年の勉強や生活を修了することができました」ということを証明するものです。みなさん一人一人の頑張ったところや、成長したところを大事にして、全員の進級を認めました。今日帰ったら、修了証書を家の人にしっかり見せて、大切に保管してください。(中略)

今日で1年の学校生活が終わります。三川小学校では、この1年間、「わたしらしくあゆむ子」という目標を掲げて、様々なことに取り組んできましたが、皆さんにとって、今年はどうな1年間でしたか。この1年間を、いつもの太陽系の地図で振り返ってみましょう。(中略)このようにして、私たちは地球とともに、太陽の周りを1周してきました。みなさんは、太陽の周りを1周する間に、様々なことに挑戦し、学び、仲間とともに大きく成長してきました。そのことに自信をもって、次の学年に進んでください。そして、皆さんが成長できたのは、いつでも温かく見守り、支え、応援してくれた友達、家族、地域の方々、先生方がいてくれたからです。「ありがとう」という感謝の心を忘れないでください。

さて、問題です。この花の名前は何でしょう。正解は、杏(あんず)です。ちょうど今の時期、3月下旬が花の季節です。厳しい冬の寒さに耐え抜いて、春になると硬い幹から花を咲かせることから、この強い生命力をたたえて「不屈の精神(くじけない心)」という花言葉がつけられています。



私は、この春、「アンズ」という名前の犬と出会いました。この犬は、三川小のある子が私に貸してくれた本に出てくるメスのトイプードルです。実はこのアンズは、実在する立派な「警察犬」です。「警察犬」といえば、シェパードなどの大型犬が有名ですが、体重約3kgの小型犬のトイプードルが、どうして警察犬になったのでしょうか。アンズは、元の飼い主が「吠えてばかりいる」「こんな犬いらない」と言って、動物保護センターに捨てられ、その日のうちに殺されるはずの犬でした。でも、その動物保護センターで働く鈴木博房(ひろふさ)さんが、誰かに引き取ってもらおうと考え、家に連れて帰ってきました。家で一緒に暮らすうちに、鈴木さんの家で飼うことになり、連れて帰ってきた時に満開だった杏の花にちなんで、「アンズ」と名付けました。

警察犬の訓練士だった鈴木さんの家には、シェパードが3頭いましたが、アンズは、シェパードが訓練を受ける様子を見て、「自分も一緒に訓練をしたい」と吠え続けました。鈴木さんが仕方なく訓練を始めたところ、アンズは難しい技に何度も失敗しながらあきらめずに取り組み、めきめきと上達していきました。杏の花言葉どおり、「**不屈の精神(くじけない心)**」で厳しい訓練に耐え、2年後には、ついに、茨城県初の小型警察犬に合格しました。警察犬になったアンズは、鋭い嗅覚や、小さな体で狭い所でも入っていけるよさを生かして、行方不明の小学生の女の子や、道に迷ったおじいさんを見つけ出したり、泥棒の手掛かりとなる臭いをかいで、泥棒の居場所を突き止めたりして、たくさんの事件を解決しました。その手柄をたたえられ、警察から何度も表彰されています。



私は、命を救われたアンズが、鋭い嗅覚と小さな体を使って、警察犬としてたくさんの人を幸せにしたお話を読んで、三川小の目標「わたしらしくあゆむ」ということを改めて考えました。皆さん一人一人には、きらりと光る「よさ」や「好きなこと」「得意なこと」が必ずあります。それを生かして、自分と周りの人を幸せにすること、それが「わたしらしくあゆむ」ことなのではないかと思えます。今年、3・4年生の「命の授業」で、助産師さんが、「命とは、自分と周りの人のために使える時間」と教えてくれました。三川小学校の皆さん、「どうせ自分なんて」とあきらめずに、「よさ」「好きなこと」「得意なこと」に気付いて、一度は命を失いかけたアンズのように、限りあるいのちを、輝かせていってください。

明日、6年生は、この三川小を巣立っていきます。立派な中学生になってください。1年生から5年生は、春休みの間に、来年は何を頑張ろうか、しっかりと考えてください。そして、事故0、けが0、病気0で、「いのち」を大事に過ごしてください。4月から、新しい場所で「わたしらしくあゆんで」いってくださることを願っています。